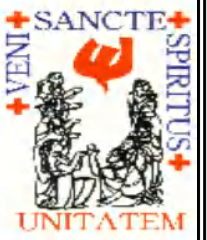


2013年3月3日 (第153号)
発行所 カトリック高松司教区 広報委員会
〒760-0074 高松市桜町1-8-9
TEL 087-831-6659 FAX 087-833-1484
Email
教区: catholic-takamatsu@takamatsu.catholic.ne.jp
広報: tk-koho@mxi.netwave.or.jp
生涯養成: yousei@takamatsu.catholic.ne.jp
WEB://www.takamatsu.catholic.ne.jp/



マザー・テレサの言葉
「熱い人一杯の水を飲ませてあげなれば、それはイエス様に飲ませて差し上げるよりも。」
「これは小さな単純な教えです。」
「でも、よく考えてみるなら、それは、一番大切なことです。」

カトリック高松教区報

実りある信仰年・教区設立50周年を

諏訪榮治郎司教

今年、高松教区は教区設立50周年を感謝のうちに迎えるようになっています。また第2バチカン公会議から50年目にあたり、世界の教会と共に「信仰年」を、実りゆたかなものになるようにと歩もうとしております。

教区報の新年号で述べさせていただいたように、第2バチカン公会議は教会の本質、その使命と意義を教会内外に明確に示したのです。公会議に一貫して流れていた「霊性」は「対話の精神」であったことをも述べさせていただきました。



諏訪榮治郎司教

この対話の精神は「神の民」という聖書的な表現でなされています。教会とは「神の民」であり、見えな神の慈しみを現す「秘跡」であり、福音宣教のため神の「道具」となる、と。

公会議は教会の本質を様々な表現で示し、それに従っていった地方教会は50年の歩みにおいてその意味を次第に見いだしていったのです。このように公会議から導き出された「教会のあり方」を改めて確認し、そこに働く神の恵みに応えて歩むとするのが「信仰年」であるといえるでしょう。

公会議から呼びかけ

それはちょうど高松教区

「心をついにし 思いをひとつにして」

「信仰共同体」を養成する

「キリストの教会」歩むために

の目標「教区の一教と再生」に向けての歩みと重なりある課題でもあると言えます。主イエス・キリストの名によってあなたがたに勧告します。皆、勝手なことを言わず、仲たがいで、心を一つにし、思いを一つにして、固く結び合いなさい」とあり「旅する教会」の姿であるといえるでしょう。教会の歴史は改革の歴史であると言われています。「どんな教会になりたいのですか」という問いかけは、私たち

「あなたがたはめいめい、わたしはパウロにつく」「わたしはアポロに」「わたしはケファに」「わたしはキリストに」などと言っていることとです。原因は神から与えられた種々の賜物を「私の誇り」としたところがあったよう

キリストの体とは?

パウロはそれぞれがいただいた賜物をもって「キリストのからだ(教会)」になる事を教諭しているのです。「あなたがたはキリストの体であり、また、一人一人はその部分です。神は、教会の中にいろいろな人をお立てになりました。私たちは「キリストの体」であり、働きにはいろいろありますが、すべての場合からこの呼びかけであったのではないのでしょうか。

改めて「キリストの教会」とは何を意味するのでしょうか。パウロはこのことについてコリントの教会に手紙(コリントの教会への手紙)を書いたのです。皆さんの賜物をいただいていたコリント教会に、なぜパウロが手紙を書かねばならなかったのでしょうか。

「協力宣教司牧」をより実りあるものにしていくために必要があります。聖霊によって日々新たにされるための生涯養成は(医師が常に新しい医療を研鑽するように)不可欠であると考えます。

「協力の秘跡」をより実りあるものにしていくために必要があります。聖霊によって日々新たにされるための生涯養成は(医師が常に新しい医療を研鑽するように)不可欠であると考えます。

「協力の秘跡」をより実りあるものにしていくために必要があります。聖霊によって日々新たにされるための生涯養成は(医師が常に新しい医療を研鑽するように)不可欠であると考えます。

「協力の秘跡」をより実りあるものにしていくために必要があります。聖霊によって日々新たにされるための生涯養成は(医師が常に新しい医療を研鑽するように)不可欠であると考えます。

「協力の秘跡」をより実りあるものにしていくために必要があります。聖霊によって日々新たにされるための生涯養成は(医師が常に新しい医療を研鑽するように)不可欠であると考えます。

「協力の秘跡」をより実りあるものにしていくために必要があります。聖霊によって日々新たにされるための生涯養成は(医師が常に新しい医療を研鑽するように)不可欠であると考えます。

信仰年に寄せて③

宇和島教会担当司祭 田中正史

あなたの信仰があなたを救った

私たちはだれでも強い信仰をもちたいと思いがちです。イエスの弟子たちも「私たちの信仰を増してください」(ルカ17:5)とイエスに願いました。

だが実際のところは、イエスによってその信仰が寝められた弟子たちは皆無であり、むしろ彼らは「信仰の薄い者たち」(マタ8:26,17:20)と言われています。

しかし、福音書の中でイエスにその信仰を認められた人たちがいます。この人たちの信仰から私たちが学ぶことができるのではないのでしょうか。実にさまざま人がイエスから次のような言葉



イエスに信仰を認められた人々

聖パウロから学ぶ

あなたの信仰があなたを救った。これらの人々、12年間出血を患って

①自分自身の力によってはどうすることもできない病や罪を負っていて彼ら自身まったく無力な存在でした。

②彼らは自分たちがその救いを求める状態に置かれていた。

③また、自分たちの病や

これらの中で②のおん父の善と真なる力に對する確信は最も重要で、イエスは彼らの中にこの確信を見たからこそ彼らに對しておん父の救いの力を仲介することができました。

彼らの信仰の中ではおん父に自らを委ねる人子であるイエスを通しておん父との人格的な出会いが現実になっていきます。そして、その出会いが癒しにおいて三位一体の神の愛の働きが彼らの人生の中にいかに具

彼らはまったく無力であったがゆえにもはやこの世の中でおん父の力以外に頼れるものは何もありませんでしたが、逆に彼らが無力であったがゆえにおん父の特別な愛と憐れみの対象となり、おん父はイエスを通して彼らから純粋な信仰を引き出したのであると考えられます。それこそがおん父の心でありみ業であるからです(ヨハ6:29)。

無力であることを悟りおん父に自らを委ねる人子であるイエスを通しておん父との人格的な出会いが現実になっていきます。そして、その出会いが癒しにおいて三位一体の神の愛の働きが彼らの人生の中にいかに具

この季節、教会は四旬節に入った。キリストの受難と十字架の死を体感した後、大きな喜びのうちに復活の栄光を迎え、神を讃える神に救われた私たちの信仰が燃え立つときだ。今年の指針となる四旬節司教書は教区の出発点として、今年を「歩むビジョン」(夢)を提示する。今年を「歩む」として、「信仰共同体」の養成に取り組みたいと述べる。聖霊に導かれ、信徒一人ひとりは、信徒一人ひとりで合って語り合い、祈り、手をつなぐ。小教区ひとつひとつではなく、ブロックとしての「聖なる輪」になって働く。そんなイメージが浮かぶ。

はばたき

今年の冬は寒かった。老人には「寒い季節だ。世は安倍政権になり、現状から脱し何とか「変わりたい」と、のワラをもつかむ思いが株高、円安に現れている。

2013年 高松教区 辞令

司教教書の趣旨にともない教区内司祭人事を以下のとおり通達いたします。このたびの司祭派遣は協力宣教司牧態勢のため、司祭は地区・ブロックへの派遣といたします。

小教区を越えて地区・ブロック内でチームとして互いに協力し支え合うことから「小教区担当司祭」として任命させていただきます。

＊()内は前任地

本部事務局

- 本部事務局長・西川康廣助祭
- 〃 補佐・岩崎 武師
- 〃 次長・多田 洋氏
- 教区会計担当・村上康助師
- 教区会計実務・井川美佳氏
- 司教秘書 ・「後任空白」 (Sr. 中島俊枝〔修道会移動により退職〕)
- 教区広報担当・谷口広海助祭
- 司教館管理者・岩崎 武師

香川地区

- 地区長：松永洋司師
- 東讃ブロック
 - 番町教会 担当司祭・松永洋司師
 - 桜町教会 担当司祭・レナト・フィリッピニ師〔ブロック長〕
 - 三本松教会 担当司祭・村上康助師〔司教総代理〕
 - 小豆島教会 担当司祭・デシテリオ・カンバラ師
 - 地区協力司祭・岩崎 武師 (南予ブロック)
 - 西讃ブロック
 - 坂出教会 担当司祭・ホルヘ・ソーザ師 (地区協力司祭)
 - 丸亀教会 担当司祭・フェルナンド・マヨラル師〔ブロック長〕
 - 善通寺教会 担当司祭・ネルソン・ウィリアム師
 - 観音寺教会 担当司祭・マンソ・クレメンシオ師
 - 池田教会 担当司祭・ホルヘ・ソーザ師

徳島地区

- 地区長：乾 盛夫師
- 鳴門教会 担当司祭・乾 盛夫師
 - 徳島教会 担当司祭・林 和則師
 - 阿南教会 担当司祭・シルバー・ベルトラム師
 - 鳴門教会在任・Br. 八木信彦〔教区青少年宣教司牧担当〕

愛媛地区

- 地区長：ファン マヌエル・ゴンサロ師
- 東予ブロック
 - 新居浜教会 担当司祭・土屋和彦師 (西讃ブロック)
 - 伊予三島教会 担当司祭・土屋和彦師
 - 西条教会 担当司祭・稲毛利之師〔ブロック長〕
 - 今治教会 担当司祭・ドミニコ会司祭〔暫定〕
 - 東ティモール・サンティアゴ・サイズ師
 - 海外研修・ユ ペドロ師 (東予ブロック)
 - 大阪教区・パウロ セコ師 (東予ブロック)
 - 中予ブロック
 - 道後教会 担当司祭・川上栄治師〔ブロック長〕
 - 松山教会 担当司祭・ルイス・グティエレス師
 - 郡中教会 担当司祭・ハビエル・レチョン師
 - 南予ブロック
 - 八幡浜教会 担当司祭・ドミニコ会司祭〔暫定〕
 - 宇和島教会 担当司祭・田中正史師〔ブロック長〕

高知地区

- 地区長：イルダヤラージ・アントニサミー師
- 中島町教会、安芸教会 担当司祭・イルダヤラージ・アントニサミー師
 - 江の口教会、赤岡教会 担当司祭・ヒロン・インディカ師 (地区協力司祭)
 - 中村教会 担当司祭・ブルゴアン・レモン師
 - 地区協力司祭・硫黄隆二師

第2バチカン公会議って何ですか(上)

2012年10月から始まった「信仰年」は、も共に第2バチカン公会議の意義と成果、そして第2バチカン公会議の開会50周年を記念して開いて共に歩むべき方向性を探っていく材料に開催されているのです。そこで、これから3回、シリーズで東京教区報「東京教区ニュース」に「中身」について見ていきたいと思います。掲載された記事を紹介させて頂き、高松教区民

めったに開かれない

「第2バチカン公会議」は、めったに開かれない。その理由は何でしょうか。よく聞かれない、今さらそれが何なのか聞けない、という人も実は多いかもしれません。「第1」ということは「第2」ということ、は「第1」があるのか？「公会議」ってなんなの？等々、まずはそんな素朴な疑問を解決しておきましょう。



教会に新しい息吹き

公会議というのは、カトリック教会の指導者である司教たちが一堂に会して、教会にとって重要なことを話し合い、決定する会議のことです。ただし、これはめったに開かれるものではなく、教会にとって危急存亡のときに緊急に招集されるものです。どのくらい「めったに開かれない」かというと、第2バチカン公会議が閉会した1965年(ちなみに開会は62年)から今日までの約半世紀、公会議は開かれていません。またその前の公会議に当たる第1バチカン公会議は1869年からの開催、つまり19世紀です。その前のトレント公会議になると、なんと16世紀の出来事。つまり16世紀に一度も開かれない、重大な事件なのです。

3千人の司教が集う

先ほど、「危急存亡のときに開かれる」と言いましたが、トレント、第1バチカン両公会議はまさにその

よりのよく表し、よりのよく伝えられるかを考え直す、いわば「ポジティブ」な会議でした。世界中の3千人近い司教たちは、62年の開会から65年の閉会まで、国会のように1年に1度、数カ月程度開かれる「会期」に出席するためバチカンに集まり、話し合いを持ちました。そこで決められたさまざまなことは、教会の公式の教え・方針として16の文書にまとめられ、公布されたのです。

この決定が私たち信者も含め、教会全体に大きな変化をもたらしたので、第2バチカン公会議は、ただ単に公会議が珍しい出来事だからという理由だけでなく、非常に重大な転換点として今日まで受け止められてきました。

「め、対話する姿勢に転じたり、また以前は「教会」というと、教会の指導者や組織に強調点がおかれていたのに対し、第2バチカンでは、「キリストの体」として、洗礼を受けたすべての人で構成する教会、という神学的イメージが回復されたり、といったことです。

ヨハネ23世が劇的決断

公会議開会後、すぐに明らかになってきたのは、2千人からなる司教たちの中に、2つの傾向があることでした。ひとつは教皇庁の高位聖職者たちを中心とする動きで、基本的には準備委員会が用意した討議資料をそのまま承認して、公会議を終えようと考えていました。もうひとつは、さまざま

「教会を」を問い直す

教皇庁は、教義上の問題をまっぴらなくカバーする

直すことを命じたのです。教皇が明白に公会議の新しい流れに肩入れした、決定的瞬間でした。

「教会を」を問い直す。それは「キリストの教会、世の光」というもので、これはまず、教会が何であるかということを内向きに問い直すことであり、次に世の光として、外に向かつて世界との関係を示すこと。換言すれば、これは3つの対話、つまり教会それ自身との対話、他のキリスト教会との対話、そしてこの世界との対話に入ることを意味する。この提言は大きな拍手で迎えられ、あれやこれやの細かい問題に注意を割(き)かれていた公会議に明確な方向性を与えるとともに、公会議自体の性格を決定づけました。教会というものをもう一度根本から考え直すこと、そしてそれはケンカ別れしてしまつた他のキリスト教派抜きには考えられないこと、またそれまでは批判・攻撃・拒絶の対象でしかなかった現代世界に向かって心を開き、その中にいる教会という視点で考えること、それがこの公会議の、そして公会議後のカトリック教会の、根本的な姿勢となつたのです。



◇世古淳(せこじゆん)氏 眞生会館研究員、同機関誌「Vital」編集長。国際基督教大学(教養学士)卒業後、アメリカ、イタリヤで学びローマ教皇庁立聖トマス・アクイナス大学より、神学教授免許、神学博士(エキュメニカル神学)取得。2007年より現職

10年前、一人娘の闘病のため東京から沖繩へ移り住みましたが、3年後、娘は亡くなりました。無信仰の私は、どこでどうやって弔えばよいのか途方に暮れていました。この時私を助けてくれたのは敬虔なクリスチャン。洗礼名は娘の誕生日、娘の七年目の追悼の前日、私は洗礼を受けました。



黒島ちよ子さん前列右から2番

信仰年によせて 多くの交わりで感謝する日々

10月1日の聖人、24歳で亡くなった小さき花のテレジアです。現在、私は友人に誘われ、児童デイサービスへカサ・ヨハネで働いています。障害をもつ子供たちやその家族を少しでもサポートできればと思っています。

ソの友人でした。さぞ大変だったと思うのですが、沖繩市にあるカトリック教会と交渉して頂き、無事に葬儀を終えることができました。その後の私は、生きる気力もなく、ただただ涙にくれる毎日でした。

娘の死から8ヶ月後、今度は私を支え続けてくれた友人の息子さんが亡くなりました。私はその友人がいる愛媛に駆けつけました。友人夫妻は深い悲しみの中にありました。でも何か違ふんです。二人には現実を受け止める強い力と絆がありました。「亡くなったあの子どもたちには今も生きてほしい」といふ言葉を聞いて、私は涙を流しました。

財務担当や雑事コツコツこなす

赤岡教会 藤原兼一さん (78歳)



藤原兼一さんは、南満州で誕生され、終戦後に秋田へ引き揚げられました。17歳からは10年近く、秋田聖園病院での闘病生活となり、左肺全摘手術も受けられたと伺っています。ご苦労の多かった人生ではなかったかと推測いたしますが、実に穏やかで、控えめな方です。平成6年に新潟聖園病院を定年退職後、高知にUターンされ、パーキンソン病の叔母様の介護をされていました。その叔母様も、平成12年11月に亡くなられたそうです。現在は、赤岡教会の財務担当者としてばかりでなく、裏方の煩雑な仕事をコツコツとこなして下さっています。会計初心者の私の質問には、毎度丁寧に答えて下さり、心から感謝しております。

安芸教会・山口 幹

神学生便り 全ての出来事は 信仰の恵・糧

神学課1年 高山徹

いつもお祈りご支援をありがとうございます。お陰様で、早くも入学から1年が過ぎようとしています。期待と緊張の両方を抱いて上京したのが昨日のことのように思えます。恩師の「全一の出来事は信仰の恵み・糧である」という言葉を思い出します。良い時も良くない時も、いつも「その時」を味わいたいと思っております。振り返って見ると、日々様々なことをこなす毎日でした。特に2学期中は、神学院祭という行事を控えていたので、神学院一丸となってそれに取り組んでいました。時々、ぶつかり合う場面もありました。そのような場面にも意味があると感じ始めた時、私は逆にこのメンバーと一緒に行きたいと思えるようになりました。神学院祭は成功の内に終わり、皆で喜び合いました。神学院祭の中で、私は主に典礼関係の部所に属し、またケーキ販売や、有志のダンスグループにも参加しました。(音楽グループの真似です！)



高山徹神学生 中段左から3番目

必要な糧となった典礼講習会

ミサは「キリストの行為」神への賛美と感謝の祈り



熱心に聞き入る信徒たち

私たちカトリック信者は、毎週日曜日(または土曜日夕)、主日のミサに参加します。教会に信徒が集まって祝うことも重要な祭儀で、日頃の自分を振り返ると、忙しさの中、ミサの深い意味も理解することなく、ただ形式的にミサに与っているように思います。その為、今回の典礼講習会は私にとってとても豊かな糧となり、第2バチカン公会議後のミサのことを学ぶ絶好の機会となりました。私は、ミサ直前の信徒方が御聖堂に入って来る様子を見る時、いつも「エ、くるみ割り人形」の第1幕初め、クリスマスイブの夜、少女クララの家のクリスマス・パーティーにお客様が次々と到着する場面を思い出します。ゆっくりとした足取りの御婦人・紳士方、再会を喜びあう人々、子どもたちを急かせながら席に着く親子連れ等々。ミサは「キリストの行為」であり、同時に「神の民の行為」であると同時に復活されたキリストがおおいでになり、その代理として司式する司祭と奉仕者が祭壇へ向かい、ミサが始まるというこのことの中に、「キリストの行為」であり、また「神の民の行為」とあるというミサの基本形が表現されています。「ミサのために集う」ということが、この集会の中に救いの業を現在化するキリストを招くための基本的な奉仕であり、キリストと共に神の民全体が、父である神にささげる賛美と感謝の祈りであると書かれています。このことから、できる限りミサに遅れないようにする心構えが必要かもしれません。そして、落ちていく「回心の祈り」を唱えることが、感謝の祭儀をふさわしく行うために必要だと分かります。この祈りの中で、兄弟の皆さんに告白します。と横の繋がりが強調されています。またレナト神父様はその告白の中で、善をするべき機会があったのを見逃してしまっただけで「怠り」の罪についてなど、自分にしてほしいことは人にしましょう。たくさん良いことをしていきましょう。と、話されました。

若い力

四国の地で続く「若者と聖書」講座 多彩な講師陣 受洗決意した青年も

2006年から高松教区内で開かれてきた『若者と聖書』講座は、その名で示されているように青年を対象とした聖書講座で、前教区長の溝部司教、前教区長の溝部司教、サントニアゴ神父、ユ・ペドロ神父、イル神父の提案で始められました。講師は司祭や修道者、単年度に3期あり、第1期は5月、第2期は11月、第3期は2月、3月で、各期ごとにテーマがあります。各期4〜8週間、毎週90分の講座が行われます。年間を通すと一つの会場で20回前後の講座が開かれていることになりました。たとえば2009年度は、高松四国カトリック会館、中島町教会、丸亀教会、坂出教会、徳島教会、道後教会、今治教会の6つの会場でそれぞれ20回の講座が開かれましたので、四国全体では1年間に120回もの講座が行われたことになりました。

道後で「若者と聖書」とクリスマス



諏訪司教を迎え楽しいひととき

会から、当初平均して7人くらい、最近平均4人くらいで、延べ450人の青年が参加したことになりました。その間には『若者と聖書』がきっかけとなって、教会に戻ってきた青年や洗礼を決心した青年もいます。残念なことに2012年度の第1期に大学の授業やバイトの都合などで1人しか参加できなかった状況になり、2007年の回数を超えて90回になりました。講師と開始以来はじめて休止する事態となりました。そこで次の期には今までの

徳島地区議長・桑原稔実

私たちが主催者として、このように一語一語を理解するための心の準備が必要です。ミサ1分前に着席するのではなく、静かな沈黙の時を持ちつつ、祈りの内にイエス様と対話を始めたいものです。この日のミサには、外国籍信徒を含め約100人が参加しました。私にはイエス様が終始微笑まれているように思われました。道後教会 竹葉純子

医療のともしび (37)

痛みとうまく付き合う方法

神経病性関節症という病気があり、この場合関節は痛みを感じないか 感じにくい状態です。そのため、その患者さんは通常より関節を使っても痛くないので、その分どんどん悪くなります。この例から言えることは、痛みとは過度の使用を控えるようにする自然の防衛力であるということです。その意味で痛みは、患部を安静にするようにしむける自然の営みと言えます。

そのため古来から、人間は痛いときは安静にすることでそれを乗り越えてきました。その後、医学の進歩で発痛機序(痛みのメカニズム)や発痛物質の存在がわかり、それに対し解熱鎮痛剤(いわゆる痛み止め)が使われるようになりました。

この痛みは侵害受容性疼痛と言います。わかりやすい例では、どこかに体をぶつけた時に痛いと感じるもので、そのあとの血腫などの炎症からでてくる痛みです。

また神経因性疼痛があります。上記の痛みが続いた後にでてくることが多く、痛みを感じる経路(末梢神経から中枢神経にかけて)の異常とされています。従来抗うつ薬、抗てんかん薬などが使われてきました。麻薬系の薬も使われます。最近プレガバリン(リリカ)、トラマドールとアセトアミノフェン配合錠(トラムセット)、プレンルフィン(ノルスパンテープ)などの使用ができるようになり、この疼痛から解放される方もできています。

さらにペインクリニック科でブロック療法を行うことがあります。

心因性疼痛といって臨床的に痛みの病変がわからないが患者さんが痛い訴えるものがあります。これは医師も把握できない痛みです。実際に臨床問題上やっかいで、精神科 心療内科受診をする場合が多いようです。

スピリチュアルペイン(死が間近に迫った患者の方が、生きる意味や価値を見失ったり、死後の不安や罪悪感などで苦しむ痛みのこと)からスピリチュアルケアが必要な人もおられます。この痛みは人間存在の実在的な痛みとも言われます。整形外科専門の立場からは手術療法でよくなる場合もあります。

痛みを定量的に測定することはまだできません。血液検査で疼痛の大小がわかる時代になるといいと常々思っています。臨床的には患者さんの自覚症状と、医師の確認する圧痛点、腫脹、画像所見などから総合的に判断するしかないのが現状です。

上記を理解していただいて、今痛みが続いていても希望を失わずに担当医とよく相談して根気よく治療していくことが肝心です。一方で完全には痛みの機序が解明されているわけでないこと、痛みを測る検査がない状態を理解していただいて、今ある痛みを早くどうにかしてほしいと担当医に言っても、おのずと限界点があるということを患者さん側として理解していただく必要があると思います。この2つが痛みとうまくつきあうコツだと思います。

坂出聖マルチン病院 整形外科 田賀谷健一



教区スケジュール

3月

- 2日(土) (拡大) 宣教司牧評議会in中島町(〜3日)
3日(日) 四旬節第3主日
6日(水) 司祭評議会12:00
10日(日) 四旬節第4主日 10:00 ヨゼフ神学生認定式
17日(日) 四旬節第5主日
19日(火) 聖ヨゼフ(祭)
20日(水) 春分の日 宋神学生祭壇奉仕者選定式・召命の集い
24日(日) 受難の主日(枝の主日)
27日(水) 聖香油ミサ11:00
28日(木) 聖木曜日
29日(金) 聖金曜日
30日(土) 聖土曜日
31日(日) 主の復活

4月

- 7日(日) 復活節第2主日(神のいつくしみの主日)
8日(月) 神のお告げ(祭)
14日(日) 復活節第3主日
18日(木) 司祭評議会10:30・司祭集会13:00in北条カタリナ(〜19日)
21日(日) 復活節第4主日 世界召命祈願の日
28日(日) 復活節第5主日
29日(月) 昭和の日 聖カタリナおとめ教会博士(記)

高松教区サポートセンター 大阪教会管区 大船渡プロジェクト
(2011年12月〜)
お米券キャンペーン!
TSC
ボランティア募集中!

告知板

高松教区召命促進委員会

第2回「召命の集い」

テーマ:「神様はみんなを呼んでいる」
期日:13年3月20日(水)11:00〜15:00
場所:カトリック四国会館(カテドラル)
申込先:教区事務局 TEL(087)831-6659
「召命の集い係」
申込締切:3月10日
対象:小3〜中3・高校生&青年
参加費:無料
時間割:10:30 受付開始 11:00 開会
15:00 宋神学生・祭壇奉仕者選
任式ミサ(カテドラル)
16:00 ミサ後、解散
主な内容:召命の分かち合い
指導
小学生・中学生の部:林神父
高校生・青年の部:溝部司教

聖心の布教姉妹会 高知修道院閉鎖のお知らせ
これまでの共なる歩みに感謝

2月の寒い或る朝、聖堂の窓から外を覗くと固かった梅の蕾が丸くなって、白い花びらまでにはほころび始めているのを見つけ、自然界の逞しさに驚き教えられる思いがしました。

私ども聖心の布教姉妹会 高知修道院は昭和15年4月に、当時の田中英吉司教の招聘を受けて、修道院と共に「聖マリア園」を設立し、以来「マリア園」の愛称で、教会と地域の皆様に親しまれて参りました。

平成20年4月から児童福祉事業を新たな法人に引き継いで頂き、平成23年3月には学校法人の聖園幼稚園を閉鎖し、この度、高知修道院を引き揚げさせて頂くことに致しました。

本当に長い年月を江ノ口教会共同体の仲間として、多くの神父さま方、信徒の皆様にお世話になりましたことを心から御礼申し上げます。

これからも高松教区・各教会に連なる皆様と祈りに結ばれ、つながって参りたいと存じます。皆様の上に神様の豊かな恵みをお祈り申し上げます。ありがとうございました。
聖心の布教姉妹会 高知修道院姉妹一同



この大会は、高松教区内で、2009年より溝部司教様のもと「女性の視点から教会を考える委員会」として発足、年1回4県持ち回りで開催されている。今回、2013年1月12日(土)カトリック坂出教会で、『いのちをつなぐこと』が平和と人につながるべく、神と人につながるべく歩み、神の国の完成となつて

「命をつなぐこと」が平和と人につながるべく、神と人につながるべく歩み、神の国の完成となつて



神とのつながりを歩む
女性の視点から教会を考える委員会
松浦司教の講演や分かち合い
坂出教会

「聖書」を背景として、貴方と私は神から愛された存在であること。貴方と私がつながり溢れていくとき、いのちが開かれ、それ

「聖書」を背景として、貴方と私は神から愛された存在であること。貴方と私がつながり溢れていくとき、いのちが開かれ、それ



「らしく」とは、神の被造物である人間の普遍性を生かすこと。神が人間をどう創ったかを考え、私の生

新刊書籍紹介

心が強く優しくなる
『ドン・ボスコのことば100』
ドン・ボスコは子どもたちを愛し育てることを大切にされた。彼のことばには、寄り添い、人を笑顔にし、導いてくれる力がある。苦しい時、勇気づけてほしい時、道しるべが必要な時に支えとなることば集です。
編者 サレジオ会日本管区
1859年、ドン・ボスコにより創立。青少年、特に貧しく不利な立場にいる青少年のために生涯をささげて働く修道会。現在、1万6千人の会員が世界130か国以上で活動している。日本には13支部があり、青少年のため教育・社会福祉・出版・教会活動に携わる。
文庫判 205頁 定価(本体500円+税)
監修 浦田真二郎 発行:ドン・ボスコ社

『聖性への招き』 ふつうのおばさん、おじさんも聖人に
第2バチカン公会議のメッセージ「教会における聖性への普遍的召命」をわかりやすく解説
1 聖ホセマリア・エスクリバーによる「キリスト者の生き方」の基本原典
2 聖性への普遍的召命に関する教え(聖性と使徒職への普遍的召命、教会における召命の唯一性と多様性)
3 家庭における信徒の聖性を実践した人たちの姿
・少女アレクシアとその母トマス・アルピラとパキータ・ドミンゲス夫妻
4 これからの歩みの助けとして
一祈り(念珠)の仕方
著者:酒井俊弘 判型:A5判並製 110頁 発行:教友社 定価:1050円

でか示教してし振りク態そたスいうなる歴四
しっネ皇私たいた、共り信たの驚誰もが飛思いロー上節
よれたデた共返り者たの驚誰もが飛思いロー上節
う歩たイのた中歩とに者たの驚誰もが飛思いロー上節
ねこと同のた中歩とに者たの驚誰もが飛思いロー上節
(方)16てのた中歩とに者たの驚誰もが飛思いロー上節
J)向世はのた中歩とに者たの驚誰もが飛思いロー上節
なる向指皇がのた中歩とに者たの驚誰もが飛思いロー上節

編集後記
四旬節に入った矢先、歴史上600年ぶりと

医療法人社団聖心会 阪本病院
わたしたちは、患者様の立場に立った全人医療を行い、地域の皆様に愛され信頼される病院を目指します
院内保育園完備
整形外科・脳神経外科・泌尿器科
皮膚科・外科・消化器外科
耳鼻咽喉科・乳癌外科・形成外科
呼吸器科・呼吸器科・内科
リウマチ科・放射線科・リハビリテーション科・麻酔科
〒769-2602
香川県東かがわ市川口103-1
☎0879-25-1112 (代)
http://www.idm-hcg.co.jp/saikunoto/

神を観想し、その実りを人々に伝えよ
聖ドミニコ宣教修道女会
私たちは、自分を創造しようとする子どもを

暁の星学園
鳴門聖母幼稚園 高知聖母幼稚園
阿南聖母幼稚園 海の星幼稚園